

○自主防災組織の設立促進

- ・現在町内13集落に整備されている自主防災組織の活動支援や未結成集落の積極的な設立を促し、地域における共助への取り組みを推進する。

○災害業務に対応する職員の体制強化

- ・夜間や災害対応が長期化されることを想定し、大規模災害時にはより迅速な対応が求められるため、非常勤職員の応援体制や災害に対し専門的な知識を持った職員の配置を進める。

○避難道路の整備促進

- ・今回の災害により主要な道路が寸断され、孤立集落が発生したため、災害時に安全で円滑な交通が確保されるよう、国道365号の栃ノ木峠のトンネル化や緊急避難道路の整備が必要であり、関係機関と連携し早期の実現化を図る。

○河川の監視体制の強化

- ・河川の状況をリアルタイムに把握し関係機関と情報共有するため、本流だけではなく支流河川にも水位計やより高性能の監視カメラの整備を進め、監視体制の強化を図る。